西多摩地区（奥多摩町）
公立小・中学校教員公募
巨樹と清流の町奥多摩で、町の宝を共育しよう

◎町内には、小学校が２校、中学校が１校あります。過疎化・少子化の影響により、児童・生徒は減少傾向にありますが、子供たちは、とても素直で元気に過ごしています。
◎奥多摩町の子供たちを、学校と地域が一体となり、「共育」を推進しています。

奥多摩町の教育について

町教育委員会の教育目標は、町の第６期長期総合計画を指針とし、「わたしがつくる、わたしたちの奥多摩へ」を基に、次代の町を担っていく人財の育成を推進しています。「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育成する教育の充実により子供たちの「生きる力」を育む。そのために、学校、家庭、地域が連携し、生涯を通じて、学び、支え合うことのできる地域社会の実現を目指しています。

地域の活力と地域住民参加による地域に根ざした学校運営を通して、地域全体で子供たちを支えるため、学校・家庭・地域が連携し、家庭・地域の協力と参加による「開かれた学校づくり」を推進しています。

また、小・中学校共通の学校運営協議会を設置することで、小・中学校が連携を強め、義務教育９年間を見通した一貫した教育を実践しています。主体的・対話的で深い学びを実現するための学習ツールとして小・中学校ともに家庭に持ち帰ることができる１人１台のタブレット端末の配備に加え、デジタル教科書（指導者用）の全教科導入や電子黒板を設置を行い、ＩＣＴ教育の推進を図っています。



こんな先生を待っています！

①奥多摩の子供たちは？

明るく素直で、何事にもまじめに取組む児童・生徒が多く、異年齢集団の活動も活発です。
しかし、幼少期から小学校卒業まで同じ学級で生活するなど人とのかかわりが限られているため、友人関係が固定化したり、切磋琢磨する機会が少なかったりして向上心に欠ける傾向もあります。このような子供たちの心と体を強く育ててもらえる意欲ある先生を募集します。（７月１日現在の児童・生徒数：小学校１２３名（古里小：７３名、氷川小：５０名）、中学校６４名）

②地域と共に子供たちを育てましょう。チャレンジ精神旺盛な先生が必要です。

町の宝である次代を担う子供たちを地域と共に育てていこうとする、意欲のある先生を待っています。奥多摩町は、この東京にあって稀有な水と緑が豊かな自然に恵まれた奥多摩で、子供たちのために何ができるのかを考え、実践できる先生が必要です。

教員公募担当……奥多摩町教育委員会　教育課 学務係　電話：0428-83-2246